

「言葉の力」一覧

各領域の言葉の力



読むこと					書くこと				話すこと・聞くこと			領域・系統			
言葉とメディア	文学二	吟味・判断	構成・展開	文学一	言語感覚	感性・想像	描写・表現	通信・手紙	論証・説得	伝達	詩歌創作	話し合う	話す	聞く	
○ 情報を見極める ○ ニュースの見方を考えよう	○ 伏線に着目する ○ 少年の日の思い出	○ 私(わたし)のタンポポ研究 ○ 事実と考えとの関係を捉える	○ オオカミを見る目 ○ 段落の役割や段落どうしの関係に着目する	○ 飛べ かもめ ○ さんちぎ ○ 人物や情景を描いた表現に注意する	○ 詩の心——発見の喜び ○ 詩を鑑賞する	○ 題材を見つける ○ 工夫して随筆を書く	○ 視点を決めて書く ○ 視点を変えて心情を描こう	○ 案内や報告の文章を書こう ○ 掲載する情報を選択する	○ 根拠を示す ○ 「写真」の意見文 ○ 読んで確かめ合う	○ テーマを設定する ○ レポートの構成を工夫する	○ 小さな発見を詩にしよう ○ 表現を工夫する	○ 話し合っていて理解を深めよう ○ グループディスカッション ○ 話し合っていて材料を出し合い、整理する ○ お互いの発言を結び付けて、考えをまとめる	○ 話の中心を明確にして、構成を考える ○ 聞き手の反応を見ながら話す	○ 話を聞いて質問しよう ○ メモを取り、質問する	一年
○ 事実と言葉の関係を意識する(19)	○ 人物像に着目する(169) ○ 走れモロス	○ サハラ砂漠の茶会 ○ 読み比べて考えを深める(98)	○ ハトはなぜ首を振って歩くのか ○ 文章と図表などを結び付けて理解する(62)	○ 黄金の扇風機 ○ 辞書に描かれたもの ○ 登場人物の言葉や行動の意味を考える(34)	○ 短歌を楽しむ ○ 短歌を鑑賞する(22)	○ 豊かな描写(203) ○ 感想交換の観点を持つ(205)	○ いきいきと描き出そう ○ 短歌から始まる物語 ○ 人物を描き出す(171)	○ 依頼状やお礼状を書こう ○ 手紙を推敲する(146)	○ 根拠を吟味する(103) ○ 「地図」の意見文 ○ 分かりやすい構成で意見文を	○ 郷土のよさを伝えよう ○ 「地域の魅力」の紹介文 ○ 情報を集める(67) ○ より効果的に伝わるように推敲する(68)	○ 短歌のリズムで表現しよう ○ 表現を練りあげる(24)	○ 話し合っていて問題を検討しよう ○ リンクマップによる話し合い ○ テーマを検討するためにメリット・デメリットを書き出す(194) ○ テーマについて検討し、結論を出す(196)	○ 説得力のある話の構成を考える(109) ○ 資料や機器を活用する(110)	○ 考えを比べながら聞こう ○ 自分の考えと比べながら聞く(49)	二年
○ 情報をより深く捉える	○ 人間関係の変化に着目する ○ 故郷	○ 幸福について ○ 文章を読んだり、議論をしたりして考えを深める	○ 絶滅の意味 ○ 説得力を高めるための論の進め方に着目する	○ 俳句の読み方、味わい方 ○ 俳句を鑑賞する	○ 今(いま)の思いをまとめよう ○ 時を超える手紙 ○ 書きたい内容を考える ○ 手紙の書きだしと結びを整える	○ 観察・分析して論じよう ○ 「ポスター」の批評文 ○ 複数の対象を比較し、特徴を多面的に捉える	○ 編集して伝えよう ○ 「環境」の新聞 ○ 情報の客観性や信頼性を吟味する ○ 文章の種類と構成を考え、内容を膨らませて書く	○ 俳句を作って句会を開こう ○ 読み合って評価する	○ 観念形成を目指す話し合い ○ 多様な考えを想定する ○ お互いの意見を生かして結論を出す	○ 相手の様子や場の状況に応じて話す ○ 相手や目的に応じて、話の内容や構成を考える ○ 相手の様子や場の状況に応じて話す	○ 話し合っていて意見をまとめよう ○ 合意形成を目指す話し合い	○ 場面に応じて話そう ○ 条件スピーチ ○ 相手や目的に応じて、話の内容や構成を考える	○ 評価しながら聞こう ○ 話の内容や表現の仕方を評価する	三年	

対話的な言葉の力		文学的な言葉の力		論理的な言葉の力			系統
伝え合う力	表現する力	解釈する力		議論する力	分析する力	整理する力	
相手の話を受け止め、引き出す	○ 描写や表現技法を用いる	○ 文脈を捉え、伏線に気づく	○ 根拠	○ を挙げて考えを述べる	○ 事実と考えを区別する	○ 分類する・比較する	一年
相手の立場を踏まえ、考えを深める(250)	○ 想像を誘うように表現する(246)	○ 人物像を捉える(242)	○ 質問	○ する・反論する(238)	○ 論証の説得力を見極める(234)	○ 情報を図や表に整理する(230)	二年
相手や目的に応じて伝える	○ 素材を生かして表現する	○ 人物どうしの関係に着目する		○ 合意を形成する	○ 論理的に読む	○ 多面的に捉える	三年

学びを支える言葉の力

「地図」の意見文

- 目標**
- 自分の考えが伝わる文章になるよう、根拠の適切さについて吟味する。
 - 文章の構成を工夫し、分かりやすく説得力のある意見文を書く。

自分の意見を伝えるためには、意見を支える根拠を明確に示さなければならない。更に、ただ根拠を挙げるだけでなく、その根拠が適切であるかどうかを考えることも、説得力を高めるうえで重要である。

ここでは、まず根拠の適切さについて吟味することを学ぼう。そのうえで、自分の考えが分かりやすく伝わるように、文章の構成を工夫して意見文を書こう。

5

根拠の適切さを吟味して、分かりやすく説得力のある意見文を書くには、どうしたらいいんだろう。



書く | 論証・説得

学びの扉 論証の説得力を見極める



人物ちよこつとメモ

(好きな食べ物)



京子 肉じゃが



優馬 ホットドッグ



理奈 ロールキャベツ



高志 鹿揚げ

学びの扉 / 学びを支える言葉の力 ↓ 100 / 234 ページ
論証の説得力を見極める 「2」で生かそう

学習の流れ

- 1 自分の立場を決める
- 2 根拠を考え、吟味する 言葉の力
- 3 お互いの根拠を吟味し合う
- 4 意見文を書く 言葉の力
- 5 完成した意見文を読み合う

1 自分の立場を決める

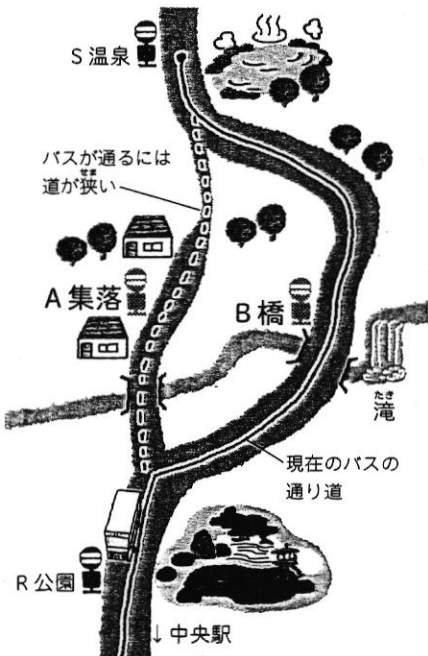
私たちの社会では、さまざまな選択肢から一つを選ばなければならぬような問題がいろいろある。よりよい決定をするためには、根拠を挙げ、根拠の適切さを吟味することが必要になる。次の問題を検討し、自分の考えを意見文にまとめてみよう。

問題 下の地図には、S温泉を終点とするバス路線が描かれている。R公園からS温泉までの間には、今までバス停がなかったが、一つ新設することになった。新しいバス停の案として、「A集落」と「B橋」の二つがある。どちらがよいだろうか。

まず、下の地図とともに、参考資料「S温泉行きバス停新設」も読み、状況を確認しよう。

次に、バス停を「A集落」「B橋」に新設した場合、それぞれどのような利点と欠点がありうるかを考えよう。ひととおり考えたら、「A集落」と「B橋」のどちらにバス停を新設するのがよいか、自分の立場を決めよう。

地図と参考資料



S温泉行きのバス停新設
S温泉行きの町営バス路線で、終点の手前にバス停を新設することが計画され、A集落とB橋の二か所が候補地となっている。

A集落には約百名が住み、約四割が高齢者。バス停を設置するには、バスの通り道を変更し、一部で道路の幅を広げる必要がある。
B橋付近の滝は、近年、観光客の人氣が高まっている。S温泉からB橋までは、歩いて片道約三十分。
S町には、新設先について多くの意見が寄せられている。
(「C新聞」の記事)

2 根拠を考え、吟味する

自分の立場が決まったら、その意見を支える根拠をなるべく多く考えて、書き出してみよう。そこにバス停を設置した場合の利点や、設置しなかった場合の不都合などについて考えてみるとよい。

いくつか書き出したら、それぞれの根拠に説得力があるかどうかを吟味しよう。説得力があると思ったものに印を付けるなどする一方で、あまり説得力がないと思われるものも消さずに残しておこう。

言葉の力 根拠を吟味する

- 根拠が確かな事実や事柄に基づいたものか、また、根拠から意見が適切に導かれているかについて考える。
- 個人的な経験や主観だけでなく、数値や資料など、客観的な事実を挙げるとよい。
- 反対の立場から簡単に反論されてしまわないかどうかを考える。

「A集落」の立場に立った場合の根拠の例

- (1) A集落の住民の約四割が高齢者である。高齢者は車の運転が難しいから、バスが使えるようになれば、買い物や通院に便利だろう。
- (2) バスは、観光客のためのものではなく住民のためのものなので、A集落が優先されるべきだ。
- (3) A集落を通るルートに変えたほうが、S温泉まで近道であり、時間短縮になる。そのため、A集落の住民だけでなく、観光客にもメリットがある。
- (4) いつも家族で旅行するときには、駅から目的地まで歩くか、タクシーを利用している。観光客がバスを利用することはないので、B橋のバス停は不要だ。

いくつか根拠を挙げてみたけど、比べてみると、説得力のあるものと弱いものがありそうだね。

一つ一つ、説得力があるかどうかを吟味しよう。

根拠として弱いと思ったものでも、書き直したら説得力が高められるかもしれないね。



3

お互いの根拠を吟味し合う

書き出した根拠をグループで読み合い、お互いの根拠について吟味しよう。その際、次のような点に留意する。

- ・2で確認した観点をもとに、お互いの根拠を読み合っている、説得力があるかどうかを考える。
- ・どこに問題があるのか、どのように書き直せばいいのか、記述をもとにできるだけ具体的に助言する。
- ・反対の立場に立った場合に、どんな反対意見が想定できるかを考え、それに対する反論も考えるとよい。
- ・吟味した根拠のうち、どれを意見文に入れるか、どのような順で入れるかについても考える。

4

意見文を書く

これまで検討してきたことをもとに、意見文を書こう。展開を工夫し、分かりやすい文章構成でまとめるようにしよう。



言葉の力

分かりやすい構成で意見文をまとめる

- 1 自分の意見を述べる。
- 2 意見の根拠を挙げる。根拠が複数あるときには、「第一に」「第二に」という書き方(ナンバリング)を用いるとよい。
- 3 予想される反対意見とそれに対する反論についても、組み込めるとよい。
- 4 まとめる(改めて意見を述べる)。

5

完成した意見文を読み合う

意見文が完成したら、互いに読み合い、内容や構成について、工夫されている点や改善できそうな点を伝え合おう。そして、今後の表現に生かしていこう。

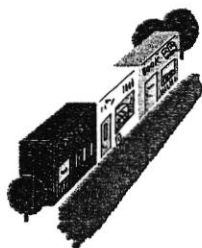
根拠について吟味する

根拠(1)は、住民の年齢層についての客観的な事実を数値で示していて、説得力がありそうだね。引用元を示すと、もっとよくなるかな。

根拠(4)で、自分の家族がバスを使わないことを挙げているけど、その事実だけで観光客みんながバスを使わないとは言いきれないよ。

A集落にバス停を作るとなると、バスの通り道を変えるために道路工事が必要になるから、費用と時間がかかるよ。もしB橋の立場からこういう反対意見が出たら、どうする？

そこは確かにA集落の立場の欠点だね。でも、道路を広げることで車の通行量が増えて、道沿いにお店ができるとか、A集落の活性化につながるという利点もあるんじゃないかな。



意見文の完成例

私は、新しいバス停はA集落に設置すべきだと考える。
第一に、住民の利便性の問題が挙げられる。「C新聞」の記事によると、A集落の住民の約四割が高齢者となっている。今後、車の運転が難しく移動が困難になる住民が増えることが予想される。バスが利用できるようなになれば、こうした人たちの移動手段が確保され、買い物や通院などが便利になるだろう。

第二に、中央駅からS温泉までの所要時間の問題がある。現状のようにB橋を通るより、A集落を通るルートに変えたほうが、S温泉まで近道であり、時間は短縮される。A集落を経由することには、住民だけでなく、S温泉を訪れる観光客にもメリットがある。

この意見に対して、「A集落にバス停を設置するとなると、バスの通り道を変更するため、道路工事が必要になる。これには多くの費用と時間がかかる。」という人がいるかもしれない。しかし、道路を広げることで車の通行量が増え、S温泉や中央駅へ行き来しやすくなった。道沿いに新しい店ができたりするなど、A集落を含めた地域の活性化にもつながる。工事に費用と時間をかけてでも、A集落を選択することの利点は大きい。
以上の理由により、私は、A集落にバス停を設置すべきだと考える。

意見

根拠1

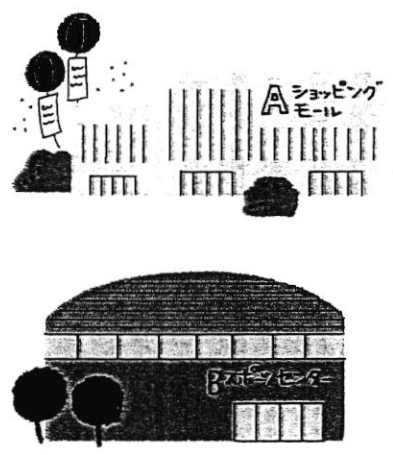
根拠2

予想される反対意見への反論

まとめ

問題

D市で、図書館の分館を一つ新設することになり、下の地図の「Aショッピングモール」の中で、「Bスポーツセンター」の中が候補地となっている。下の地図と参考資料を踏まえて、Aショッピングモールと、Bスポーツセンターのどちらがよいか、根拠を挙げて意見文にまとめよう。

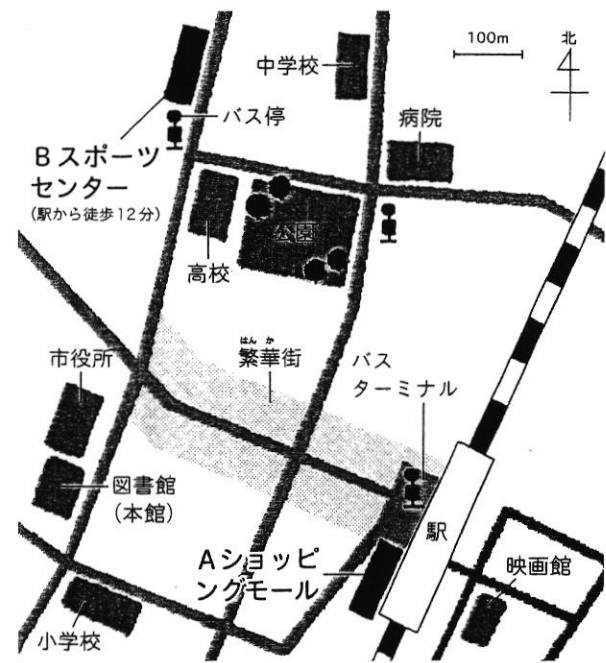


5

振り返り

根拠を吟味して意見文を書く学習を通して、どんな力が身についたか、その力をこれからの学習や生活でどう生かしていきたいかをまとめよう。

地図と参考資料



図書館の分館を計画中
「教育と文化の街」をス
ローガンに掲げるD市では、
図書館の分館を新設するため、
場所の選定を進めている。幅

広い世代の利用を想定するが、
特に若い世代の読書への関心
を高める役割が期待されてい
る。
(「D市だより」の記事)